

南陽地域の農業

市内最大の水田地帯で、毎年「田んぼアート」も行われています。

そのため、米作りのイメージが強い南陽の農業ですが、

大消費地である名古屋市内という

強みを活かして、さまざまな野菜が

栽培・出荷されています。

中でも、とうもろこしは、収穫後時間の

経過とともに甘みが低下するため、

消費地直結を生かした商品となっています。



愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company部



部活動として、地域貢献を目的として、

フェアトレード・カーボンオフセット・

アップサイクルなどに取り組んでいます。

いま、力をいれているのが、SDGsのなかの

目標12「つくる責任 つかう責任」に着目した

規格外野菜の有効活用です。

今回は、地元の農産物を使った
レシピを考えました。

これまでの様々な活動が評価され、
令和5年度には農林水産省東海農政局の
ディスカバー農山漁村(むら)の宝
コミュニティ・地産地消部門に
選定されました。



名古屋市港区なごやさいレシピ 令和6年3月

名古屋市港区南陽支所(農政)

(調理・写真協力 愛知県立南陽高等学校Nanyo Company部)